

大学院医学研究科 医学専攻 博士課程

専攻主科目名

上部消化管外科学

◆問合わせ連絡先 担当: 外科学講座 教授 深川剛生

E-mail tfukagaw@yahoo.co.jp

TEL 03-3964-1211

◆在籍メンバー

教授 : 深川剛生

講師 : 清川貴志

助教 : 堀川昌宏、外村修一

臨床助手 : 熊田宜真

添田成美

緑川裕紀

大学院生 : 金城信哉

出向中 : 五十嵐裕一、鈴木悠介

どんな患者さんを診るの？

◆ 診療対象となる主な疾患

食道 : 食道癌, アカラジア, Boerhaave症候群, 食道静脈瘤

胃 : 胃癌, 胃潰瘍(穿孔、出血、難治), GIST, 胃ポリープ

十二指腸 : 十二指腸潰瘍(穿孔), 十二指腸癌, 粘膜下腫瘍

腹膜・腹壁 : 後腹膜腫瘍, 腸間膜腫瘍, 鼠径ヘルニア, 大腿ヘルニア,
閉鎖孔ヘルニア, 腹壁癒痕ヘルニア, 臍ヘルニア, Spigelヘルニア

* 消化管穿孔, 腸閉塞, 虫垂炎などの救急疾患は外科全グループ(乳腺外科と呼吸器外科を除く)で分担するので, 下部消化管系の緊急手術を行うことも多い

* 外科大学院生は, 外科の全グループをローテーションする
(外科専門医必須診療項目はすべて充足させる)

どういう検査や治療をするの？

◆診療の流れ

1. 多くは前医(当院内科を含む)で診断されて外科依頼
2. しかし, 治療方針は外科が行う検査結果で決定する→内視鏡検査やX線透視も外科で修得する
3. 上部消化管癌の化学放射線治療も上部消化管外科が扱う
→全身管理、集学的治療

◆治療戦略は

1. 手術治療(早期胃癌を中心に腹腔鏡, 胸腔鏡などの鏡視下手術を施行)
ロボット手術も積極的に行っている。
1. 内視鏡的治療(EMR, ESD など)
2. 集学的治療(化学療法, 放射線療法, 免疫療法)

自分で手術はさせてもらえるの？

◆手術症例数(2019年)

食道切除術	12
胃切除術	54 (10*)
ヘルニア根治術	45 (6)
十二指腸手術	2(0)
虫垂炎手術(虫垂切除, 回盲部切除)	13(9)
その他**	82

(): 腹腔鏡下手術

* うち6件 ダヴィンチ(ロボット手術)

** 腹腔ポート造設, 脾摘, 大腸切除, 腸閉塞解除など

低～中難易度手術の大半は卒後1～10年目の医師が執刀し、
上級医は指導的助手として参加する

手術以外の治療法も知らないといけないと思うんだけど...

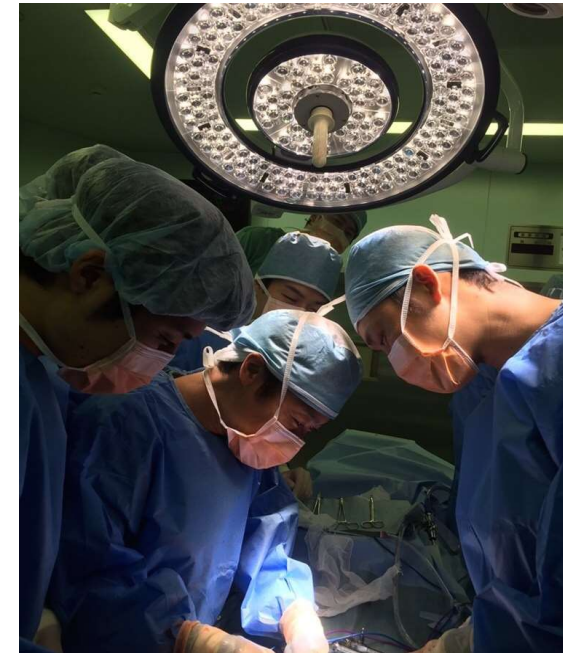
◆院内での手術以外の治療実績

- 化学放射線免疫療法 211 (のべ人数)
(食道癌、胃癌、十二指腸癌、GIST) <2014年>
- 胃瘻造設 32 <2019年>

具体的なスケジュールは？

◆ 日常の診療活動の流れ

	午前	午後
(月)	手術	手術
(火)	カンファレンス, 内視鏡	病棟(手術)
(水)	病棟	病棟
(木)	内視鏡	病棟(手術)
(金)	病棟(手術)	病棟(手術)
(土)	病棟(手術)	
(日)	病棟(交代制)	



手術風景

患者の全身管理が主な病棟業務(輸液, 抗菌薬, 栄養管理を学ぶ)
X線透視などの検査はすべての曜日で施行(イレウス管挿入等も学習)
この間に, 日中外勤, 外勤当直, 出張手術をこなして行く(当然有給)
担当患者のfollowは, 上級医外来で行うことが多いが, 自分で外来follow
することも歓迎

最終的には何が出来るようになるの？

◆大学院世代で達成する臨床的目標

●患者全身管理

周術期患者の全身管理(輸液、栄養、抗菌薬)ができる
上部消化管の内視鏡検査、X線透視検査ができる
上部消化管疾患の治療戦略が立てられる

●手術

低難度手術が独立で執刀できる(ヘルニア, 虫垂切除)
中難度手術が指導のもとで執刀できる(胃癌など)
高難度手術の第一助手, 執刀ができる(食道癌など)

「専門医」とかの資格も取っとかないと...

◆大学院世代での目標となる臨床資格

●外科の基本資格：外科学会専門医

●さらに専門化した資格

消化器内視鏡学会専門医

消化器外科学会専門医

消化器病学会専門医

がん治療認定医

●当グループに独特な目標資格

Total Nutritional Therapy Course

(NSTリーダー資格)

静脈経腸栄養学会専門医

外科周術期感染管理認定医

大学病院なんだから学術的な活動もしなきゃ

◆大学院生の国内学会活動(2019年, 筆頭演者のみ)

「当院における胃癌腹膜播種に対するタキサン腹腔内化学療法 of 検討」

五十嵐裕一、鈴木悠介、緑川 裕紀、添田 成美、熊田宜真、堀川 昌宏、清川 貴志、深川 剛生、福島、亮治
第91回日本胃癌学会総会 2019/2/28

「当院での進行・再発胃癌に対してニボルマブを投与した14例の経験」

緑川裕紀、清川貴志、鈴木悠介、五十嵐裕一、添田成美、熊田宜真、堀川昌宏、深川剛生、福島亮治
第91回日本胃癌学会総会 2019/3/1

「当院におけるStageIV食道癌の栄養法に関する検討」

鈴木悠介 緑川裕紀 五十嵐裕一 添田成美 熊田宜真 堀川昌宏 清川貴志 深川剛生 福島亮治
第44回 日本外科系連合学会学術集会 2019/6/19

「当院におけるCD腸炎の検討」

緑川裕紀、五十嵐裕一、鈴木悠介、添田成美、熊田宜真、堀川昌宏、清川貴志、深川剛生、福島亮治
第32回 外科感染症学会 2019/11/29

「当院における胃癌腹膜播種に対する皮下埋没型腹腔ポート関連合併症に関する検討」

五十嵐裕一、鈴木悠介、緑川裕紀、添田成美、熊田宜真、堀川昌宏、清川貴志、深川剛生、福島亮治
第49回 胃外科術後研究会 2019 10/31

「StageIV食道癌の当院での治療成績」

鈴木悠介 緑川裕紀 五十嵐裕一 添田成美 熊田宜真 堀川昌宏 清川貴志 深川剛生 福島亮治
第73回 日本食道学会学術集会 2019/6/6

さすがに国際学会ってわけにはいかないだろうなあ...えっ！

◆大学院生の国際学会活動(2017-19年、筆頭演者のみ)

1. H.Midorikawa:Emergency Surgery for Intestinal Obstruction due to Strangulation by Hernia of the Foramen of Winslow:A Case Report. Asia Pacific Hernia Society.2017,**Taiwan**.
2. H.Midorikawa:A case of incarcerated internal hernia detected as incarcerated inguinal hernia. 41th European Hernia Society. 2019,Humburg,**Germany**.
3. Y,Suzuki:The use of Onflex mesh on inguinal hernia. 39th International Congress European Hernia Society,2017,VIENNA,**Austria**.
4. Y.Igarashi:A Case of Mesh Penetrating the Bladder Following Surgery for an Inguinal Hernia. 39th International Congress European Hernia Society,2017,VIENNA,**Austria**.

そもそも大学院なんだから医学博士にならなきゃ

◆最近の学位取得論文

堀川昌宏 : Clinical significance of intraperitoneal CD44 mRNA levels of magnetically separated CD45-negative EpCAM-positive cells for peritoneal recurrence and prognosis in stage II and III gastric cancer patients

井上泰介 : Clinicopathological and prognostic significance of microRNA-107 and relationship to DICER1 mRNA expression in gastric cancer

小川越史 : Severe gut ischemia reperfusion reduces hepatic mononuclear cell numbers in mice

そもそも大学院なんだから医学博士にならなきゃ

◆最近の学位取得論文

熊田宜真: Exosome-encapsulated microRNA-23b as a minimally invasive liquid biomarker for prediction of recurrence and prognosis in each tumor stage of gastric cancer

添田成美: Plasma exosome-encapsulating miR-21 and miR-92a are promising biomarkers for the prediction of peritoneal recurrence in patients with gastric cancer

五十嵐裕一: 胃癌における血漿 PD-L1 および PD-L2 測定の臨床的意義

大学院生で学位(医学博士号)取得の失敗例なし

博士になった後はどうなるんだろう？

◆ 専門医, 博士号取得後の進路

1. 留学: 国内(小川越史先生), 海外(小出泰平先生)
深川の紹介により海外への留学が可能。
2. 大学のスタッフとなる(堀川昌宏先生、熊田宜真先生、添田成美先生), 関連病院就職(小出泰平先生), 開業(井上泰介先生、小川越史先生)のいずれも可
3. 全身管理の知識, 手術手技の技術があるので, それを生かせる他科に進むことも可能(小川越史先生)

最後に...上部外科の「売り」ってなに？

◆当教室の強み

★日本(=世界)最先端・最高峰の胃癌手術をじかに学べる

◆当教室教授 深川剛生 先生

20年に渡り、国立がんセンター中央病院 胃外科に所属。
2017年11月より上部消化管外科 教授に就任。

3000例を超える手術経験を持ち、現行の胃癌治療ガイドラインの作成にも携わる。

また、長年に渡って世界各国で胃癌手術や講演を行い、世界をリードする日本の胃癌治療の普及にも尽力。

そんな先生の膨大なデータと経験に裏打ちされた知識や技術を大学にいながらにしてマンツーマンで、じかに学べる！

そんな大学、日本中探しても他にはありません！！

最後に...上部外科の「売り」ってなに？

◆当教室の強み

★日本(=世界)最先端・最高峰の食道癌手術をじかに学べる

◆当教室助教 外村修一 先生

国立がんセンター中央病院にて食道外科スタッフとして多数手術を手掛ける。

2020年4月より、深川教授の要請により帝京外科へ異動。

難易度の高い食道癌手術・術後管理の奥義を学ぶことができる。